

3. 大会当日

大会当日になりました。九州各県の道守の皆さん約400名が大集結。主催者挨拶から始まり最後の大会宣言まで交流会は、大盛況のうちに閉幕しました。懸案だった客席からの発言者をスクリーンに投影するという試みは、長崎国際大学の皆さんのご協力により実現し、会場全体が盛り上がりました。また、懇親会では佐世保バーガーや海軍さんのビーフシチューなど佐世保ならではの料理が大好評でした。そして、翌日の現地体験学習では、参加者が2コースに分かれて佐世保の魅力を堪能していただきました。



パブリックミーティングの様子
(写真左下の発言者を舞台上の長崎国際大学のゼミ生が撮影し、中央のスクリーンに投影)



懇親会の様子
(地元の飲食店の協力により佐世保ならではの料理が実現した)



懇親会でのジャズバンドの演奏



「現地体験学習」地下壕（防空指揮所）跡

4. 感謝, 感謝

この様に、「みちづくし in 佐世保 2019」が好評のうちに終わることができたのは、多くの方々のご協力のお陰と心から感謝しています。特に、佐世保地区世話人の方、長崎県及び佐世保市役所の皆さん、地元の建設業関係の皆さん、そして、事務局を含め主要な役割を果たしていただいた国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所の皆さんには、大変大きなご支援をいただきました。本当にありがとうございました。この大会を通じて素晴らしい新たな仲間が増えたことは、私にとって大きな喜びです。「みちづくし」を佐世保市で開催できて、本当に良かったと思っています。



交流会終了後の記念撮影

🌱 おわりに

これからの道守

今年は、新型コロナウイルスのパンデミックが起き、日本や世界の状況は一変しました。そして、残念ながら今年のみちづくしは、開始以来初めて中止となりました。コロナ禍の中、人と人との絆づくりが基本の道守活動は大変厳しい状況です。この状況が、いつまで続くか分かりませんが、私達の活動への思いは、ますます強いものとなっています。新しい生活様式の中で、これからの道守活動の可能性を仲間と一緒に見い出していきたいと思っています。